故事成語 大きな文字プリント1

配布番号

問1　「株を守りて兎を待つ」の意味はどれですか？

1. どんなに苦しい状況でも、自分の信念を曲げずに最後までやり通すこと
2. 小さな利益に目を奪われて、すぐそばにある大きな危険に気づかないこと
3. まぐれの成功に味をしめ、同じやり方でもう一度 成功しようとすること
4. ほかの人が手に入れた成果を、そばでじっと見ていて横取りしようとすること

問2　人生の栄華のはかなさをたとえた「（　）の夢」の（　）に入る言葉はどれですか？

1. 黄粱
2. 小麦
3. 大豆
4. 白米

問3　「井の中の蛙、大海を知らず」の意味はどれですか？

1. 小さな環境にいても、そこで力をつけて大きく成長するということ
2. 身分の低い者でも、努力を重ねれば高い地位につけるということ
3. 大きな力をもつ者の前では、小さな者は何もできないということ
4. 自分の狭い知識や経験にとらわれ、広い世界を知らないこと

問4　「先んずれば（　）を制す」の（　）に入る言葉はどれですか？

1. 敵
2. 場
3. 時
4. 人

問5　「鹿を追う者は」に続く言葉はどれですか？

1. 足元を見ず
2. 山を見ず
3. 道を見ず
4. 森を見ず

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「高齢者の脳トレ」のプリント一覧がひらきます

故事成語 大きな文字プリント1　　答え合わせ

問1　答え 3　まぐれの成功に味をしめ、同じやり方でもう一度 成功しようとすること

「株を守りて兎を待つ」は「まぐれで成功したことに味をしめ、同じやり方でもう一度 成功しようとすること」という意味です。古い習慣にこだわって時代の変化に対応できないことのたとえにもなります。『韓非子』の五蠹篇に出てくる話が出典です。

問2　答え 1　黄粱

「黄粱の夢」の「黄粱」の部分が入ります。黄粱は粟のことです。意味は「飯が炊き上がるほどの短い間に見る夢のことで、人生の栄華がはかないことのたとえ」です。

問3　答え 4　自分の狭い知識や経験にとらわれ、広い世界を知らないこと

「井の中の蛙、大海を知らず」は「自分の狭い知識や経験にとらわれ、広い世界があることを知らない」という意味です。出典は中国の『荘子』です。

問4　答え 4　人

「先んずれば人を制す」の「人」の部分が入ります。 意味は「人より先に物事を行えば、主導権を握って有利に立てるということ」です。

問5　答え 2　山を見ず

「鹿を追う者は山を見ず」の続きは「山を見ず」です。 意味は「目先の利益に心を奪われると、全体が見えなくなること」です。